

C- II -67 人間ドックにおける禁煙補助薬を用いた禁煙導入の長期成績

黒部市民病院 健康管理センター

川田佳代子、辻 博、家城 恭彦、中田 明夫、野畑 浩一

【はじめに】

当健康管理センターでは2002年4月より禁煙指導に加えて禁煙補助薬ニコチンパッチの処方を行ってきた。このサービスは高い短期禁煙導入率と利用者への高い利便性を提供してきた。今回、禁煙導入後の長期成績を検討した。

【対象と方法】

2002年4月から2005年3月までの3年間に当健康管理センターで一泊人間ドックを受診した1516人のうち禁煙補助薬ニコチンパッチを希望した者について検討した。禁煙希望者には受診初日午後に禁煙指導とニコチンパッチ使用方法の指導を行った。人間ドック2日目に処方箋を発行した。以後は内科外来に管理を引継いだ。

【結果】

1 泊ドックを受診した1516人中男性は1087人女性は429人であった。その中で喫煙者は465人喫煙率は30%であった。禁煙を希望したニコチンパッチ処方者数は41人でそのうち女性が1人であった。

禁煙希望者の喫煙指数は 870 ± 388 で全体に重喫煙者が多い傾向にあった。ファガストロームニコチン依存度指数は 6 ± 2 点と依存度指数が高い傾向がみられた。

人間ドック受診により禁煙行動は関心期から人間ドック受診をきっかけに準備期に移行していた。これらの人達の多くが普段から禁煙に関心を抱いておりドック受診を機会に禁煙方法が

具体的に示されたことで準備期に移行したものと思われる。無関心期から準備期に移行した5人はドックを受診した際に診察医に肺気腫など喫煙関連疾患を指摘された人であった。禁煙の継続率は3ヵ月間で49%1年で29%であった。さらに2年間では25%まで低下していた。禁煙後の体重変化については8kg減少した人から8kg増加した人まで全体にばらつき平均では $0.5\text{kg} \pm 3.4\text{kg}$ と僅かの増加に留まっていた。

【考察】

人間ドックにおいて禁煙指導に加えて禁煙補助薬ニコチンパッチを併用して禁煙導入を行った3年間の実績を評価した。

リッチモンドが報告した禁煙導入から3年間の追跡成績では禁煙継続率は2年間で20%、3年間で14%であった¹⁾。これは私たちの成績ともおおむね一致するものであった。しかしながらこれだけの医療費を投入しながら2年後の禁煙継続率が25%に留まっている状況は決して効率的とはいえない。タバコの価格をよりリーズナブルなものにするなどの一層効率的で有効な対策が望まれる。

文献

- 1) Richmond RL, Kehoe L, Cesar A : Three year continuous abstinence in a smoking cessation study using the nicotine transdermal patch. Heart 78: 617-618, 1977